

子どもの興味・関心を活かした 個に応じた探究的な学習

敦賀市立東浦小・中学校

1 年間の取組み

1. 東浦っ子タイムの実践

児童生徒の表現力を豊かにするために、月に1回、昼休みに一人1回全校児童生徒の前で作文の発表を行った。

小学生は、興味をもった学習内容から考えたこと、個人で取り組んでいることをわかりやすく紹介した。算数や理科、体育の学習から学んだことやクラスで取り組んでいることの発表があった。中学生は、学級や個人で取り組んでいることについて構成メモをもとにスピーチしたり、最近のニュースや授業で考えたことなどを説明した。社会科で学習したお菓子のラベルや、家庭科で学習した消費者マークなどについて、自分でさらに調べて分かりやすく発表した。

2. 学びの探究コーナーの設置

興味・関心のある事柄について「東浦っ子タイム」で発表したことや授業で調べたことを、分かりやすくまとめ、児童玄関前に掲示して児童生徒が自由に読めるように、「学びの探究コーナー」として発信した。

3. デジタル新聞教材の活用

今年度、デジタル新聞教材を活用できる環境にあったので、個に応じた探究的な学習に活かした。小学生は社会科の調べ学習に活用したり、帰りの会に興味のある記事について紹介したりした。中学生は、国語の時間に新聞記事を読み、意見文を書いた。

《 学びの探究コーナーの様子 》



成果と課題

- ・「東浦っ子タイム」では、興味のある事柄について発表できた。課題は、発表を聞いて児童生徒同士で十分に意見交換することである。今後は意見交換の仕方を工夫して、活発に意見のやりとりをしていきたい。
- ・「学びの探究コーナー」では、深い学びを共有することができた。
- ・デジタル新聞教材の活用がきっかけとなり、さらに探究学習を進めることができた。今後は、紹介した記事を記録として残していきたい。